

今までのつきあひ方

近年の子どもたちの友達関係は、私たち大人が子どもだった頃とは少しずつ形を変えているように感じます。子ども同士の間でけんかや言い合いを、大人が早い段階で仲裁し、未然に防ぐ場面が増えました。安心・安全のために必要な配慮である一方、揉め事を避けようと相手に気を使いすぎたり、一定の距離を保つ関係を選ぶ傾向も見られます。中高生になると、いじめへの監視が強まる分、SNSなどを使った巧妙な仲間外れが起きているのが現状です。表向きは穏やかでも、心の距離を感じる関係が増え、本音で向き合うことを難しくしているのかもしれないと。衝突を恐れず、関係を築き直す力を育むことの大切さを、今あらためて考える必要があります。

ながーい友だち

約35年前の入試の時に出会って以来、学生寮、職場、職場の寮まで同じという環境で、気がつけば、長い時間を共にしてきた友達がいる。結婚でお互い遠くに引越して、新しい生活が始まり、ここ数年は会えていないが、何気ない日常や出来事を共有し築いた信頼関係は、私にとって、とても大切なものだ。その友達が単身赴任で東京に引っ越してきたのだ。早速、お互いどんなおばさんになったか確かめ合う約束をした。とても楽しみにしている。

ママとは友だち

私の娘はよく「ママと私は友達みたいな親子だよね」と言います。買い物やお茶をしにカフェに行



他にも「ママにはこういう服が似合うと思う」など、自分が得た知識を使ってたくさんアドバイスをしてくれま

私はゲームだったりマンガや小説を読むことも好きなので、そういった話でも盛り上がりま

私は傍から見れば親らしくない母親なのかもしれま

共感の模倣と、本当の孤独

あるアンケートで、気軽に相談できる相手の1位にAIが選ばれたというニュースがあり衝撃を受けま

AIが選ばれるよりも前、このような相手の1位は「親友」だったはず

さしてそうなる、AIは親友でしょうか？ A



人間ではありません。人間同士の「お互い様」の関係性ではなく「商品として一方的に消費するだけ」の相手です。そしてある時、同じ質問をすれば誰にでも定型の答えを返すことに気がきます。実は人の感情を模倣しているだけの機械で、本当の意味での共感を得られないということが分かった時、一層深い孤独感に苛まれることでしょう。AIの利便性に安易に頼るばかりではなく、たとえ迷惑を掛け、傷つき合うことがあっても、本当の人間関係を持つ温かさを大切にしなければ、と改めて思います。



子ども食堂

提供していただく食材とご寄付で大泉まちの子ども食堂は運営しています。

せていますので、受付時間を3回に改定しました。

で頂いたお菓子・食品や近隣農家さんの野菜なども

いますので、お土産に配布しています。

して地域のつながりを大切にしながら活動を続けてまいります。

、お待ちしております。

- 毎月第2土曜日
- ・12時から受付
- ・12時30分から受付
- ・13時から受付

：緑小近くの「まちの駅大泉学園」

：子ども100円・付添いの大人200円

アレルギー対応はしていませんので、ご注意下さい。

問合せ先：「まちの駅大泉学園」

住所：大泉学園町5-7-17

電話：03-3978-0207

